

NEC オンラインセミナー

デジタル競争力の進化！
次世代VDI基盤による
「高性能 × セキュア × TCO最適化」

2025年12月5日

エヌビディア合同会社
日本電気株式会社

後藤 祐一郎 氏
劉 伯誠

14:00-14:15

時代遅れのクライアントに喝！ 「シンクライアント3.0」が、OAシステムのジレンマとシンクライアントの積年の課題を解決

クライアント環境の性能・コストの課題を俯瞰し、最新技術で日常業務の体感とコスト効率を両立させるアプローチを提示。

日本電気株式会社 BluStellarビジネス統括部 プロフェッショナル 劉 伯誠

14:15-14:35

イレギュラーVDIにサヨウナラ！“次世代VDI”での戦略的な業務環境と有効活用

仮想GPUを適切に配分して業務体感を底上げする次世代VDIの設計・活用ポイントを紹介。

エヌビディア合同会社 エンタープライズ事業本部 vGPUビジネス開発マネージャ 後藤 祐一郎 氏

14:35-15:00

特別対談&質疑応答：実践知から未来への展望

シンクライアントの“今”と“これから”について本音で語り合うセッション

エヌビディア合同会社 エンタープライズ事業本部 vGPUビジネス開発マネージャ 後藤 祐一郎 氏

日本電気株式会社 BluStellarビジネス統括部 プロフェッショナル 劉 伯誠

15:00

おわりに(お知らせ)

時代遅れのクライアントに喝！

「シンククライアント3.0」がOAシステムのジレンマと 積年の課題を解決

2025年12月5日

日本電気株式会社

「シンクラ界の大久保彦左衛門」こと 劉 伯誠



劉 伯誠

仙台市出身
／仙台市在住

※ 地元にUターンして
テレワーク中



業界での別称:

「シンクラ界の
大久保彦左衛門」

「シンクラ業界のご意見番」
として活動中

主な実績

2007年

システムズアーキテクトとして全体の技術統括
業界で初めて1,000台以上のVDI事例を発表

2011年

システムズアーキテクトとして全体の技術統括
業界で初めて10,000台以上のVDI事例を発表

2015年

システムズアーキテクトとして全体の技術統括
4年前と同じシステムで「脱VMware」を実現

現在: プリセールスエンジニアとしてご提案活動に従事

悩み: セキュリティとパフォーマンスはトレードオフの関係

シンクライアント



セキュリティが高い

運用性が高い



パフォーマンスが低い

モダンアプリへの対応に不安

モダンアプリが快適に動作せず
「シンクライアントは時代遅れ」と揶揄

物理PC(FAT-PC)

パフォーマンスが高い

モダンアプリに対応しやすい



セキュリティが低い

運用性が低い



運用性が低く
セキュリティ対策が穴だらけに



弊社の提唱する「シンクライアント3.0」とは？

BluStellar

仮想化基盤に仮想GPUを搭載することで、シンククライアントのパフォーマンスを改善

Before

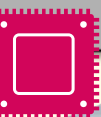
グラフィックをCPUで処理

CPU

グラフィック
処理

グラフィックアクセラレータ
のないPCは、物理PCの
世界では35年前の水準

CPU
負荷が
増加



「時代遅れ」のグラフィック機能/性能では
DXに乗り遅れる

After(シンククライアント3.0)

グラフィック処理をGPUに分担

CPU

GPU

グラフィック
処理

CPU
負荷を
軽減



サーバーに
GPUを
搭載



グラフィック機能/性能を
物理PC(ノートPC)以上に改善

シンククライアントの特長と、物理PCの特長を併せ持ち、欠点を相殺

従来のシンククライアント



セキュリティが高い

運用性が高い



パフォーマンスが低い

モダンアプリへの対応に不安

物理PC(FAT-PC)



パフォーマンスが高い

モダンアプリに対応しやすい



セキュリティが不安

運用性が低い

シンククライアント3.0



セキュリティが高い

運用性が高い

パフォーマンスが高い

モダンアプリに対応しやすい

「シンククライアント3.0」だけでは解決できない課題が



シンクライアント3.0 Release2の誕生

BluStellar

主要な海外ベンダ製品の値上がりを回避するため、国産VDI製品「VirtualPCCenter」が仮想GPUに対応

A社製品



特長

画面転送プロトコルの性能
では一歩抜きんでた存在

B社製品



特長

仮想化基盤と一体化した
一貫性の高い管理性

VirtualPCCenter



特長

NEC自社製品(純国産)
VDI業界最古参の製品
信頼性とリーズナブルなコスト

2025年10月より
Hyper-V上の
仮想GPUに対応！

サブスク化による値上げ

円安による値上げ

仮想化基盤の値上げ

下位エディションの廃止

買い切りモデルの継続

国産なので相場影響なし

Hyper-V対応(SCVMM不要)

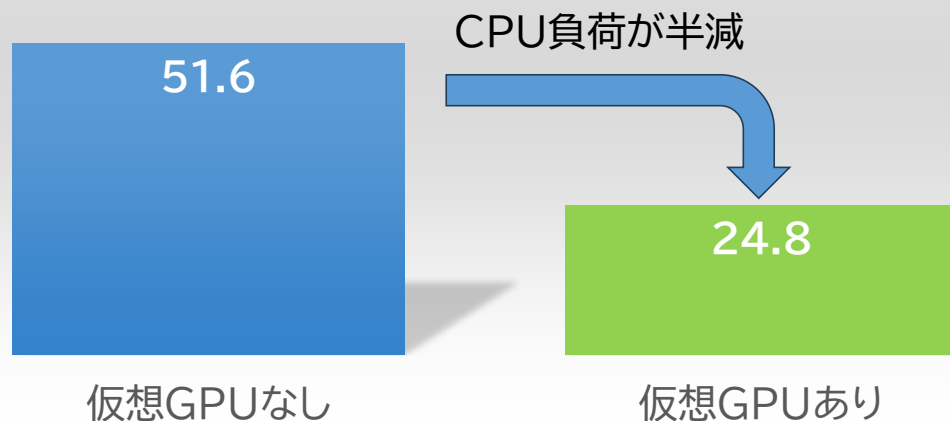
エディションの区別なし

シンクライアント3.0
Release2の誕生

「シンクライアント3.0」の持つパフォーマンスを維持しつつ、主要な海外製品と比べて導入/運用コストを削減

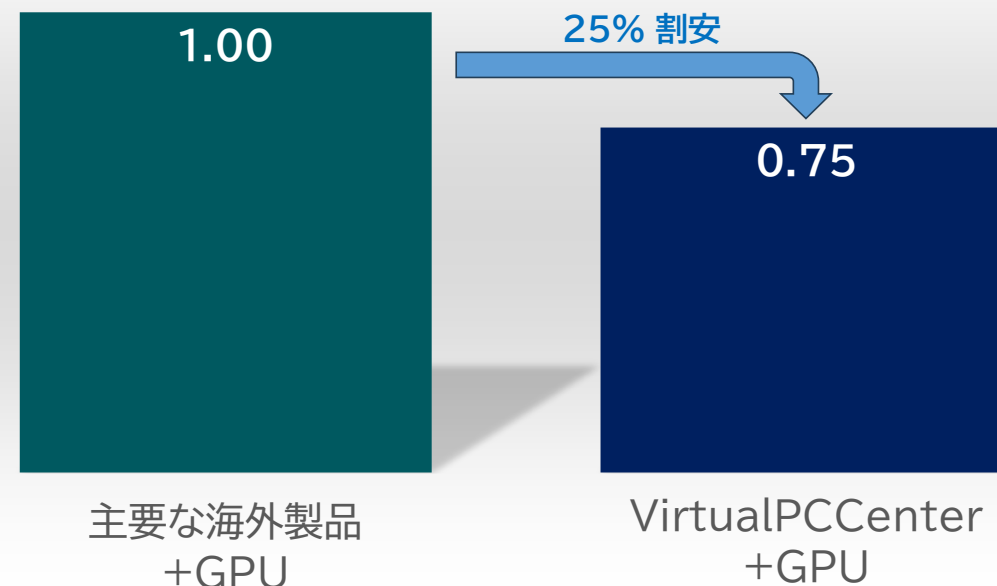
Teams会議(カメラON)

CPU使用率(%)



主要な海外ベンダ製品と遜色ない効果

市場想定価格の比較



主要な海外ベンダ製品より25%割安

シンククライアントは「時代遅れ」を解消し、更なる改革のステージへ

従来のシンククライアントは
今や「時代遅れ」である



時代遅れの
グラフィック機能が
DXの足を引っ張る



最近大した改良が
ないのに、値上げ
ばかり

コスパ改善のための
「大改革」が必要

改革その①
仮想GPUの導入



物理PCに劣らない
グラフィック機能



「PC」から「WS」
まで、用途に応じた
多彩な選択肢

シンククライアント史上3回目の
大改革として「シンククライアント3.0」
と命名

改革その②
国産PKG製品の充実



VirtualPCCenter
の仮想GPU対応



特定ベンダに支配
されない多様な
選択肢の確保

更に進化したシンククライアントとして
「シンククライアント3.0 Release 2」
と命名

BluStellar

未来へ導く、光となる。



イレギュラーVDI にサヨウナラ！ “次世代VDI”での戦略的な業務環境と有効活用

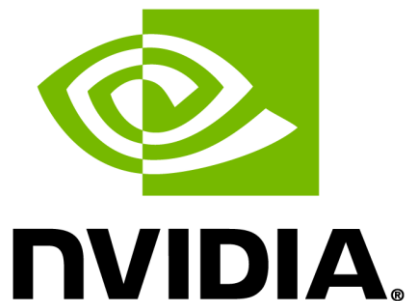
目的：データセンター内のデータとシステムリソースをフル活用！
端末・GPU環境の統合と活用、セキュリティ強化、集中管理、データ集約
オフィスVDI、グラフィックス VDI、コンピューティング VDI、AI VDI

エヌビディア合同会社 | NVIDIA Japan | 2025/12/5

エンタープライズ事業本部 vGPUビジネス開発マネージャー

後藤 祐一郎 | ygoto@nvidia.com

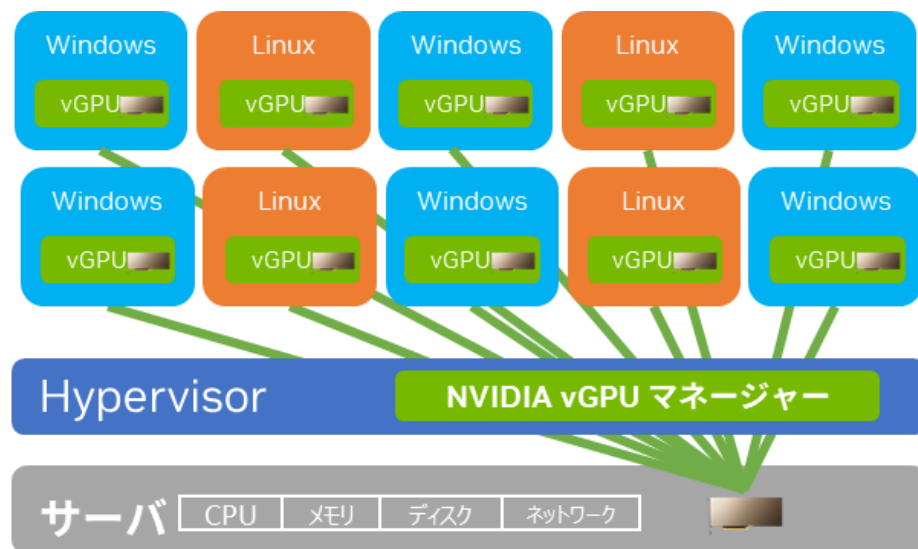
自己紹介



後藤 祐一郎 (1981年生 千葉県出身)

エヌビディア合同会社
エンタープライズ事業本部 vGPU ビジネス開発マネージャー

国内ユーザー企業、システムインテグレータでクラウド、仮想化やVDI、インフラ提案や設計構築、PMや運用保守、講演活動や講師を経験。2017年2月にNVIDIAに入社。“GPU分身の術”=NVIDIA vGPUで、“DX推進仮想基盤”の使い方を広げるビジネスに従事。



“GPU分身の術”の
伝道師

企業を取り巻くさまざまな懸念

管理面、環境面、性能面、データ管理面、経営面の懸念事項

管理面の懸念

PC環境の準備や保守負荷の懸念

端末管理、移設、資産管理
障害のデータ復旧、保守機の貸出
新任、退任、組織変更時など
運用負荷と労力と費用が非常に高い

設定や運用負荷の増大の懸念

ソフトウェアのバージョンアップ、セキュリ
ティパッチの適用、OSやソフトの設定
変更等に、非常に手間や運用負荷が
高い、労力と費用、時間がかかる

データ管理面の懸念

機密性の高いデータの取り扱い

データの機密性が高く、データを
社外や自宅に持ち出せないため
リモートワークができない

データファイル肥大の懸念

取扱いデータのサイズが年々
大きくなってきている
ファイルサーバやPLM、ネットからの
データ読込・書込みに時間かかる

データファイル取込みの懸念

HPCノードでジョブを実行後、結果をPC
に移動する際にHPC設置の現地に
行かないとデータを吸い上げられない

データバックアップと復旧の懸念

バックアップに時間がかかる。
特定箇所しかバックアップ取得できてい
ない。データ復旧できるか懸念がある

経営面の懸念

災害時の事業継続の懸念

災害時にも事業継続できる環境を
整備できていない
業務システムやサーバ、ファイルサーバ、
ネットワーク、ユーザーデータ

人材不足の懸念

経験者が兼務して、複数の業務を担う
必要がある。PCも複数必要
社員、パートナー、フリーランス
海外からのリソースも期待したい

技術継承の懸念

経験者などのノウハウを集めて
技術継承、教育を進めたい
他の部署の業務も把握できるようにして
新たな気づきを増やしていきたい

環境面の懸念

身体的負担とセキュリティの懸念

ワークステーションノートPCを持ち歩いて
いるが、約3kgと非常に重い。
ノートPC紛失時、データ漏洩が怖い

リモート作業のパフォーマンス懸念

Web会議、動画再生、全体的に遅い
会社の自席のワークステーションにリモート
接続するがパフォーマンスが悪く、遅い

設置スペースと電源の懸念

物理ワークステーションをPC教室、CAD・
サーバールームに並べているがスペースの
無駄、電源・空調・ネットワークの限界

性能面の懸念

PC性能の最適化の懸念

性能が足りない、我慢して利用
ワークステーションを買い足している
管理外の非標準PCが増えている

新しい取り組みができない懸念

解析、VR、デジタルツイン、生成AI、
大規模データの活用など
動作させる環境がない、環境が少ない

CPUとGPUの違い

総合職

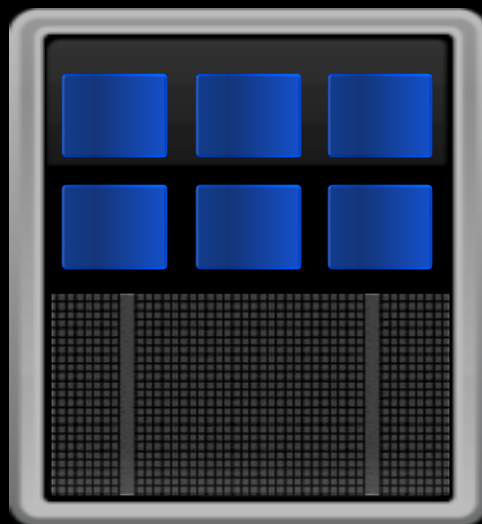
コンピュータの頭脳

パソコンやサーバなどの
全体の処理

1つの計算を連続的に実行
複雑な命令に対応

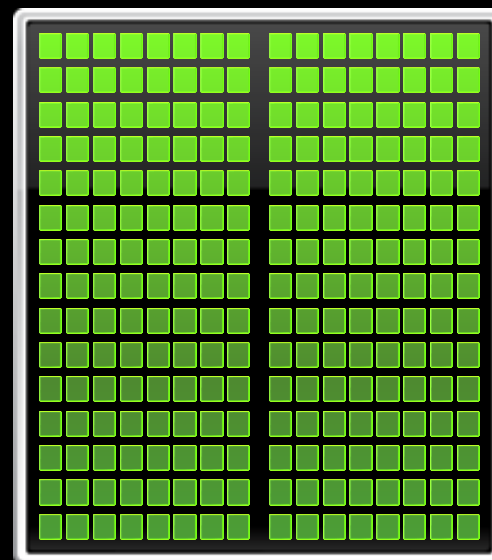
CPU

(Central Processing Unit)
数コア～数百コア



GPU

(Graphics Processing Unit)
数千コア～数万コア



専門職

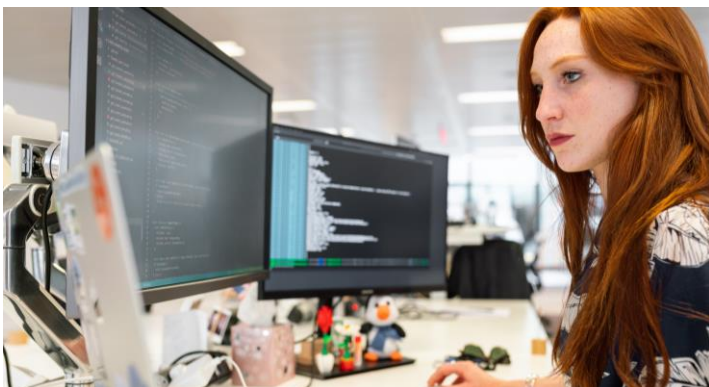
グラフィックスと計算の頭脳

グラフィックスの画像や映像処理
高い並列計算処理に特化
AI、ディープラーニング、HPCなど

大量のコアを搭載
大量の処理を一斉に実行

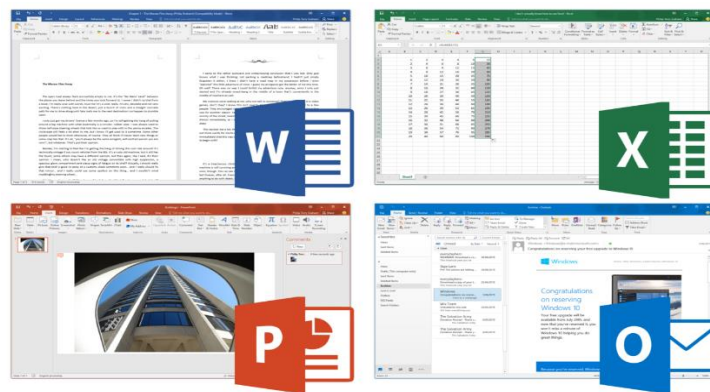
現代のデジタルワークスペース

年々 利用方法が進化
基本的なグラフィックスのニーズやAI利用の増加



マルチモニター

作業効率の向上のため、1~4台の複数台の
Full HDから、4Kモニター利用が一般的に



Officeアプリケーション

日常使いでも多くのグラフィックスを消費
CPUに負荷がかかる



オンライン会議、コミュニケーションツール

オンライン会議、会議の録画視聴も増加
チャットや仮想会議室など、最重要の日常的なシステムに



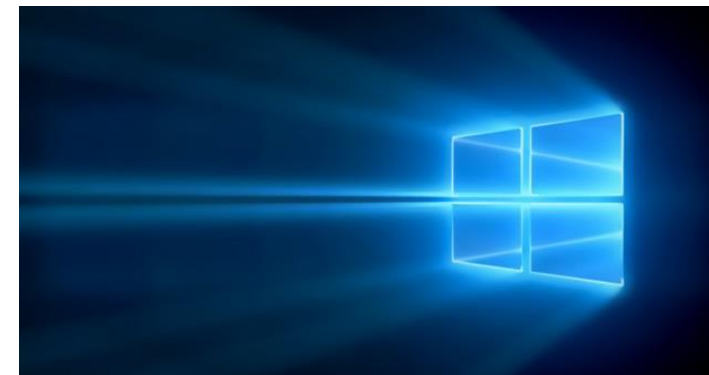
マルチメディアストリーミング

YouTube、動画、広告などのビジネスニーズ
eラーニングでの日々の学習



AI利用 インタラクティブ コンテンツ Webブラウザ経由での顧客情報や業績管理 業務アプリや地図情報

ユーザーが直感的に情報やデータを理解するため
高い表現力、AI利用やグラフィックス利用が増加



Windows 10、11

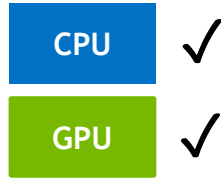
OSビルドのアップデートや機能強化で
グラフィックスのニーズは増加傾向
アプリケーションもAI利用も増加傾向

一般的にGPU利用する時代

入力、メール、PDF、オフィスソフト、コミュニケーションツール、Webブラウザ、動画再生、オンライン会議、マルチモニター、AI利用

ノートPC

標準でグラフィックス処理装置のGPUを搭載



【Windows 11 物理ノートPC】

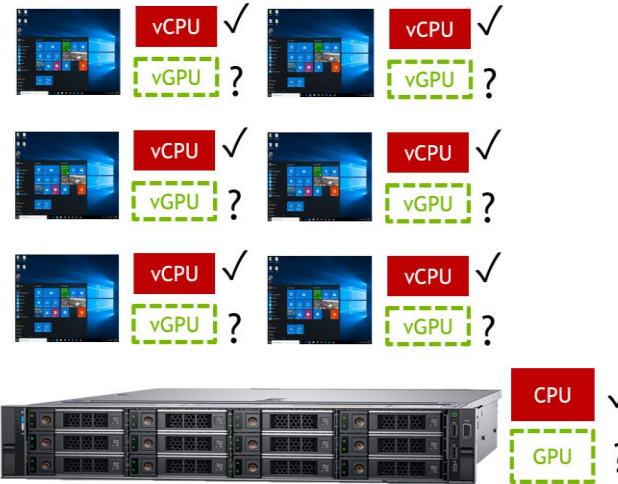
- OS : Windows 11
- CPU : 8~10 Core
- Memory : 16 GB
- Disk : 256 GB
- GPU : 内蔵GPU

Intel UHD/Iris Xe/Arc/AMD Radeon

従来のVDI

イレギュラーな構成

GPUが無いとCPUに負担がかかり、全体パフォーマンスが劣化



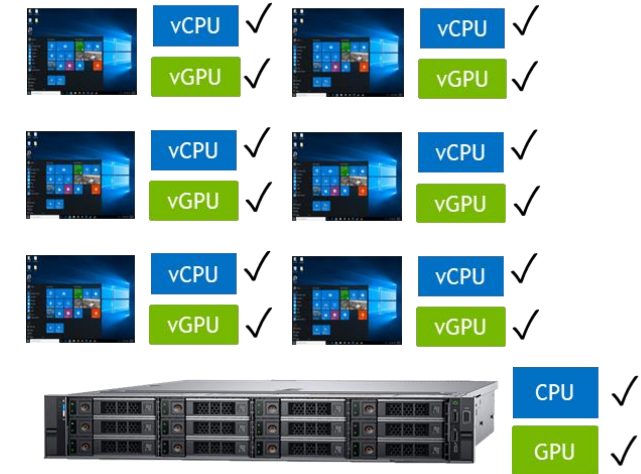
【Windows 11 VDI GPU無】



- OS : Windows 11
- vCPU : 6 Core
- vMemory : 12~14 GB
- vDisk : 128 GB
- vGPU : 無

次世代VDI

CPU負荷軽減、新しい使い方も可能な環境



【Windows 11 VDI GPU有(仮想GPU)】



- OS : Windows 11
- vCPU : 4 Core
- vMemory : 12~14 GB
- vDisk : 128GB
- vGPU : 1GB(A16-1B)

“GPU分身の術”とは

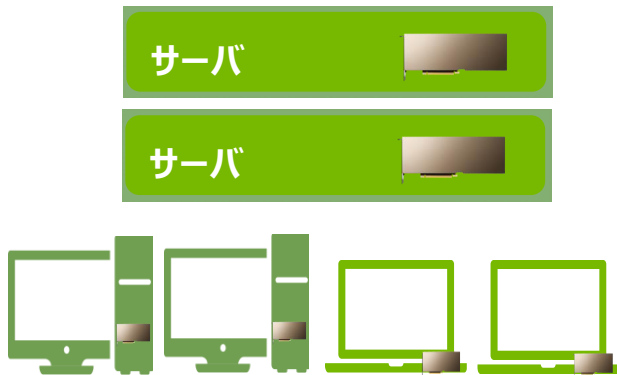
GPUを もっともっと! たくさんの環境で有効活用したい

NVIDIA vGPU (仮想GPU)は、サーバに搭載したGPUのメモリを仮想GPU(vGPU) として分割

複数台の仮想マシンで高いコア性能を効率的に最大限共有しながら利用可能

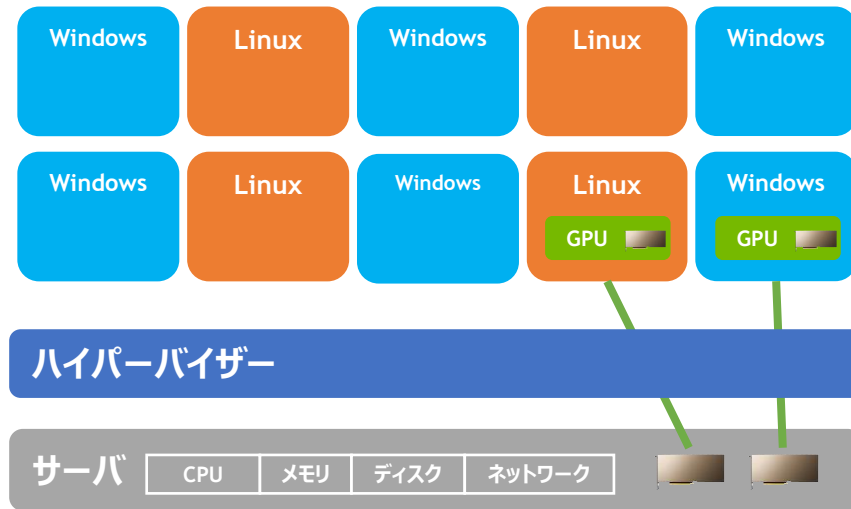
仮想化の管理運用やスペック変更の柔軟性、冗長化やセキュリティ等のメリットをそのままに、ベアメタルと遜色ないパフォーマンスを実現

物理サーバ デスクトップ, ノートPC



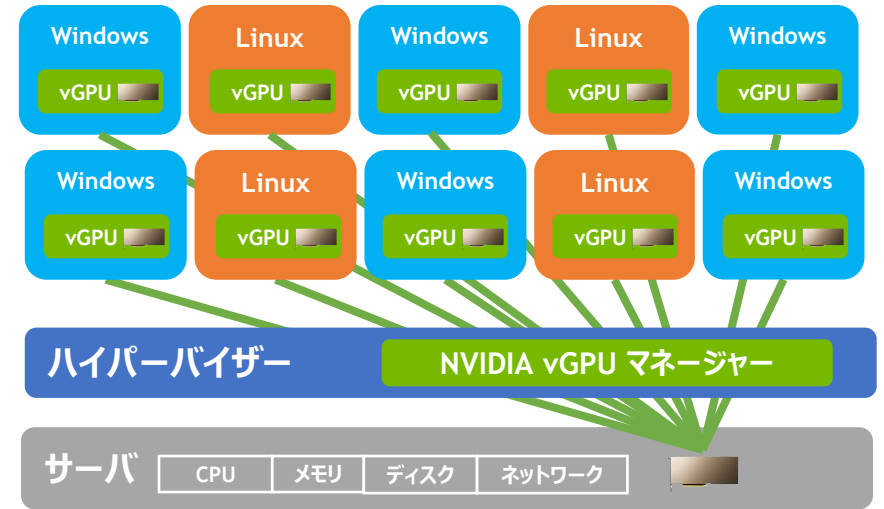
各機器に 1 枚ずつ、GPU搭載

GPUパススルー 仮想化



仮想マシン 1 台に1枚ずつ、GPU搭載
『1対1 方式』

“GPU分身の術” 仮想化 + NVIDIA vGPU(仮想GPU)



1枚のGPUを複数台の仮想マシンで利用
『1対多 方式』

GPUの利用者を増やしたい
費用を抑えて多くのユーザーがGPUを利用可能に

DX推進仮想基盤

サーバ仮想化 + NVIDIA vGPU (仮想GPU) テクノロジー

GPU分身の術

仮想化レイヤー

グラフィックス用途



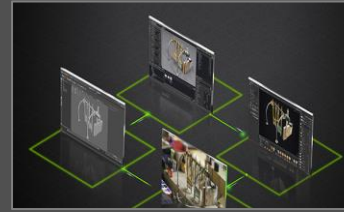
リモートワーク(VDI, SBC)
仮想アプリケーション, 仮想PC
仮想ワークステーション

vGPU



3Dグラフィックス, 映像
デザイン, レンダリング

vGPU



デジタルツイン
NVIDIA Omniverse

vGPU



AR/VR
NVIDIA CloudXR

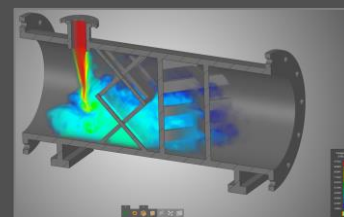
vGPU

コンピューティング用途



データ分析
機械学習

vGPU



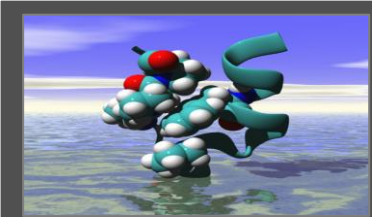
シミュレーション
解析

vGPU



AI 推論
NVIDIA AI Enterprise

vGPU



プリ/ポスト:HPC, AI学習
NVIDIA AI Enterprise

vGPU

ハイパーバイザー

NVIDIA vGPU マネージャー

CPU

メモリ

ディスク

ネットワーク

サーバー

NVIDIA GPU

NVIDIA GPU

DX推進仮想基盤

サーバ仮想化+ NVIDIA vGPU (仮想GPU) テクノロジー

GPU分身の術

仮想化レイヤー

グラフィックス用途

対象部署
全社：情報システム部、DX推進部
現場部門：設計、デザイン、研究開発等



リモートワーク (VDI、SBC)
仮想アプリケーション、仮想PC
仮想ワークステーション

vGPU

対象部署
現場部門：設計開発、デザイン、ロボット、
ゲーム制作、映像、CG、アニメーション、広告



3Dグラフィックス、映像
デザイン、レンダリング

vGPU

対象部署
現場部門：設計開発、デザイン、ロボット、
生産・施設管理、ゲーム制作、映像



デジタルツイン
NVIDIA Omniverse

vGPU

対象部署
現場部門：設計・デザイン、広告、サービス企画

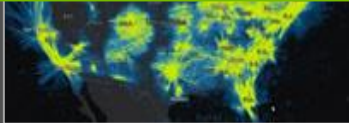


AR/VR
NVIDIA CloudXR

vGPU

コンピューティング用途

対象部署
全社：経営企画、マーケティング部
現場部門：データサイエンス部門



データ分析
機械学習

vGPU

対象部署
現場部門：設計開発、製品/研究開発



シミュレーション
解析

vGPU

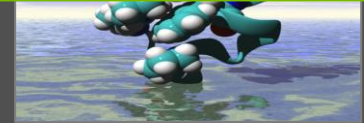
対象部署
全社：DX推進部、経営企画
現場部門：生産・施設管理、サービス企画



AI 推論
NVIDIA AI Enterprise

vGPU

対象部署
全社：DX推進部、経営企画
現場部門：製品/研究開発、サービス企画



プリ/ポスト:HPC, AI学習
NVIDIA AI Enterprise

vGPU

ハイパーバイザー

NVIDIA vGPU マネージャー

CPU

メモリ

ディスク

ネットワーク

サーバー

NVIDIA GPU

NVIDIA GPU

制約を改善して 次なる戦略的なDXへ 次なるステージで新たな取り組みへ

高セキュリティ環境

データやノウハウの集約

データセンター内のデータとシステムリソースをフル活用

場所や時間に縛られずに仕事が可能

大規模データの取扱い

変化するニーズに合わせてスペック変更

NVIDIA vGPU

“GPU分身の術”

vApps, vPC, vWS



メリット

パフォーマンス改善

コスト効率、集約率の向上

システムリースの柔軟性

サーバ、ワークステーションレベルの実現



VDI/SBC Hypervisor

Orchestrating a brighter world

NEC

メリット

セキュリティ強化、事業継続

働き方改革、生産性の向上

仮想マシン展開、管理運用の一元化

仮想マシンスペック変更に対応

組織変更、プロジェクト変更に対応



付加価値

- ・Agentic AI, Physical AI
- ・生成AI：独自データとAIインフラ基盤
- ・AI, DL：NVIDIA AI Enterprise
- ・レンダリング：RTX PRO Server
- ・デジタルツイン：NVIDIA Omniverse
- ・VR/AR：NVIDIA CloudXR
- ・機械学習
- ・HPC/シミュレーション/ 解析、プリ/ポスト

メリット

戦略的なDX

さらなる効率化、利便性の向上

新たな取り組み、業務、サービスの開始



NVIDIA vGPU サポート: ハイパーバイザー, VDI, ゲストOS

ハイパーバイザー	VMware vSphere (ESXi) 7.0, 8.0, 9.0 and compatible	Citrix Hypervisor, XenServer 8.2, 8.4 and compatible	Nutanix AHV, 5.20.x LTS, 6.0, 6.1.x, 6.5.x LTS, 6.6.x, 6.7.x, 10.0.x, 10.1, 10.3.x	RHEL with KVM 8.1, 8.2, 8.3, 8.4, 8.7, 8.8, 8.10, 9.0, 9.1, 9.2, 9.4, 9.6, 10.0 RHV 4.1, 4.2, 4.3, 4.4	Ubuntu with KVM 20.04, 22.04, 24.04	Proxmox Virtual Environment (VE) 8.3.4, 8.4.1, 9.0.3	Microsoft Azure Local 22H2, 23H2 preview, 23H2, 24H1, 12.2504,	Microsoft Hyper-V Windows Server 2025
VDI 画面転送	Citrix Virtual Apps and Desktops(ICA) Horizon (Blast Extreme/PCoIP) RDSH[Microsoft Remote Desktop] (RDP/RDS) HP Anywhere(RGS/PCoIP) Amazon DCV(NICE DCV) Mechdyne TGX(TGX)							
ゲスト OS	Windows Windows 10 (32/64-bit) 1607,1703,1709,1803,1903,1909,20H1,20H2,21H1, 21H2, 22H2 Windows11 (64bit) 21H2, 22H2, 23H2, 24H2 Windows Server 2012 R2, 2016, 2019, 2022, 2025				Linux Red Hat Enterprise Linux 6.6, 7.x, 8.x, 9.x and later compatible Red Har Core OS 4.11 CentOS 6.6, 7.x, 8.x and later compatible Rocky Linux 8.4, 9.0 Ubuntu 14.04, 16.04, 18.04, 20.04 LTS, 22.04 LTS, 24.04 LTS SUSE Linux Enterprise Server 12SP3, 15SP2, Debian 10, 12			

※NVIDIA vGPUのバージョン、各ハイパーバイザーやEcosystemの組合せにより対応バージョンは異なります。ご利用前に各社の最新情報をご確認ください。

NVIDIA Virtual GPU Software Documentation & vGPU Software Version	: http://docs.nvidia.com/grid/index.html
NVIDIA Virtual GPU Software Supported Products	: http://docs.nvidia.com/grid/latest/product-support-matrix/index.html
Virtual GPU Software for VMware vSphere Release Notes	: http://docs.nvidia.com/grid/latest/grid-vgpu-release-notes-vmware-vsphere/index.html#abstract
Virtual GPU Software for Citrix Xenserver Release Notes	: http://docs.nvidia.com/grid/latest/grid-vgpu-release-notes-citrix-xenserver/index.html#abstract
Virtual GPU Software for Red Hat Enterprise Linux with KVM Release Notes	: https://docs.nvidia.com/grid/latest/grid-vgpu-release-notes-red-hat-el-kvm/index.html#abstract
Virtual GPU Software for Linux KVM Release Notes	: https://docs.nvidia.com/vgpu/latest/grid-vgpu-release-notes-generic-linux-kvm/index.html#abstract
Virtual GPU Software for Ubuntu Release Notes	: https://docs.nvidia.com/vgpu/latest/grid-vgpu-release-notes-ubuntu/index.html#abstract
Virtual GPU Software for Microsoft Azure Local Release Notes	: https://docs.nvidia.com/grid/latest/grid-vgpu-release-notes-microsoft-azure-stack-hci/index.html
Virtual GPU Software for Microsoft Windows Server Release Notes	: https://docs.nvidia.com/vgpu/latest/grid-vgpu-release-notes-microsoft-windows-server/index.html
NVIDIA AHV support for NVIDIA GRID GPU and vGPU	: https://portal.nutanix.com/page/downloads?product=ahv&bit=NVIDIA
AHV Administration Guide「GPU AND VGPU SUPPORT」	: https://portal.nutanix.com/page/documents/details?targetId=AHV-Admin-Guide-v5_19:ahvgpu-support-on-ahv-c.html



vGPUの分割：グラフィックス/コンピューティング/AI

NVIDIA RTX Virtual Workstation(vWS)：Windows / Linux

NVIDIA AI Enterprise：Linux

RTX PRO 6000BSE 1枚あたり、96GBグラフィックスメモリを分割設定
仮想マシンの性能パターン、通常(3GB)と高性能(24GB)を分けて、用意したい場合

RTX PRO 6000 Blackwell Server Edition(6000BSE) - 1枚目
24,064Core/96GB



DC-3Q	DC-3Q	DC-3Q	DC-3Q
DC-3Q	DC-3Q	DC-3Q	DC-3Q
DC-3Q	DC-3Q	DC-3Q	DC-3Q
DC-3Q	DC-3Q	DC-3Q	DC-3Q
DC-3Q	DC-3Q	DC-3Q	DC-3Q
DC-3Q	DC-3Q	DC-3Q	DC-3Q
DC-3Q	DC-3Q	DC-3Q	DC-3Q
DC-3Q	DC-3Q	DC-3Q	DC-3Q

32VMに割当可
・ DC-3Q (3GB)

RTX PRO 6000 Blackwell Server Edition(6000BSE) - 2枚目
24,064Core/96GB



DC-24Q	DC-24Q
DC-24Q	DC-24Q

4VMに割当可
・ DC-24Q (24GB)

※ 1つの物理GPUに対して、利用できるvGPUプロファイルは1種類(等分割)が推奨。 参照：NVIDIA RTX PRO 6000 Blackwell Server Edition 仮想 GPU タイプ

vGPUの分割：オフィス(VDI)

NVIDIA vPC : Windows

A16 1枚あたり、64GBグラフィックスメモリを分割設定
仮想マシンの性能パターン、通常(1G)で用意したい場合

A16 - 1枚目

Physical GPU 0 1,280Core/16GB				Physical GPU 1 1,280Core/16GB				Physical GPU 2 1,280Core/16GB				Physical GPU 3 1,280Core/16GB			
A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B
A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B
A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B
A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B

64VMに割当可
A16-1B(1GB):64台

A16 - 2枚目

Physical GPU 0 1,280Core/16GB				Physical GPU 1 1,280Core/16GB				Physical GPU 2 1,280Core/16GB				Physical GPU 3 1,280Core/16GB			
A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B
A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B
A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B
A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B

64VMに割当可
A16-1B(1GB):64台

- ※ 1つの物理GPUに対して、利用できるvGPUプロファイルは1種類(等分割)のみ。
- ※ 物理GPUごとに、別の種類のvGPUプロファイルが利用可能。

次世代VDI（不可能を可能する仮想ワークスペース）

目的：端末の統合化、セキュリティ強化、集中管理、データ集約

ソリューション：仮想基盤 + vGPU + リモートワーク

メリット： 利用デバイスのスペックはシンプルに。ノートPC 1台でどんな作業でも実現。
集中管理と運用サポートの共通化、分散されたデータやバックアップの統合
データセンターでデータを保護。リモートワークのパフォーマンスを改善。柔軟な作業環境。
データをデバイスに残さずセキュアな作業環境、マルウェア感染時でも早い業務復旧
電気代削減、省スペース化、ネットワーク増強とデータの集約化

■ **オフィスユーザー (VDI/SBC)：** 将来的なデジタルワークスペースに対応

・ **オフィス VDI：** CPU負荷軽減、パフォーマンス改善 (Web会議、ブラウザ、動画、オフィスソフト等)、サーバ集約率向上

■ **プロフェッショナルユーザー (VDI)：** 変化する利用や性能ニーズに柔軟に対応

性能変更が可能な作業環境 (CPU/メモリ/ディスク/ネットワーク/GPU)

3Dグラフィックス、デジタル設計開発、映像制作、解析、AI開発環境の統合

・ **グラフィックス VDI：** 3D CAD/BIM/CIM/デザイン/映像/レンダリング

・ **コンピューティング VDI：** CAE/HPCプリ・ポスト

・ **AI VDI：** AI開発や利用環境

AI・GPU統合基盤

目的：GPU環境統合と活用、変化する利用や性能ニーズに柔軟な基盤

ソリューション：仮想基盤 + vGPU = AI VM (仮想マシン)

NVIDIA vGPU, NVIDIA AI Enterprise (生成AI, 映像, 画像, 音声, 言語, AI-OCR等)

次世代VDI + **NVIDIA Omniverse** (仮想空間：コラボレーション、シミュレーション)

メリット：

AI開発・実行環境の統合：Edge、物理PC、部門サーバ、パブリッククラウド

デジタルツインでノウハウ統合：Agentic AI, Physical AI, ロボット, レイアウト, 都市開発, 自動運転等

DX推進仮想基盤

オフィス / グラフィックス / コンピューティング



ハイパーバイザー

NVIDIA vGPU manager

サーバー

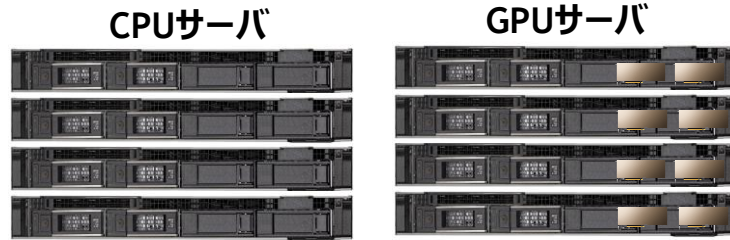
CPU, メモリ,
ネットワーク, ディスク

物理PC/ワークステーション/サーバを引越 すべてDX推進仮想基盤に移行

端末関連



サーバ関連



AI関連



DX推進仮想基盤に引越

- ・オフィス用PC
- ・高性能ワークステーション
- ・CPUサーバ、GPUサーバ
- ・AI実行ワークステーション、サーバ

仮想化メリット

集中管理、運用統合、セキュリティ強化
電力削減、リソース・データ統合

DX推進仮想基盤 オフィス / グラフィックス / コンピューティング



ハイパーバイザー

NVIDIA vGPU manager

サーバ

CPU

ネットワーク

メモリ

ディスク

NVIDIA GPU

NVIDIA GPU

NVIDIA

NVIDIA vGPUソフトウェア別の利用ケース

さまざまなユーザー、たくさんのアプリケーションに対応



オフィス業務
ビジネスユーザー

NVIDIA vPC/vApps(vPC/vApps)

快適でスムーズな作業環境を提供



グラフィックス/コンピューティング
プロフェッショナルユーザー

NVIDIA RTX Virtual Workstation(vWS)

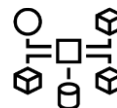
スペックを柔軟に変更、プロフェッショナルなグラフィックス、コンピューティング、AI実行や開発を支援



AI開発者



Data Science



Augmented Retrieval
Generation




Large Language Models



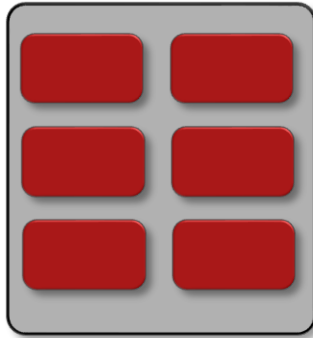
Inference

GPUによる オフィスユーザーへの効果

GPU無 OS: Windows 11
vCPU: 6 Core
vMemory: 12~14 GB
vDisk: 128 GB
vGPU: なし



CPU




全体の処理
制御と演算

グラフィックス処理
画面描画
画像データ変換と圧縮

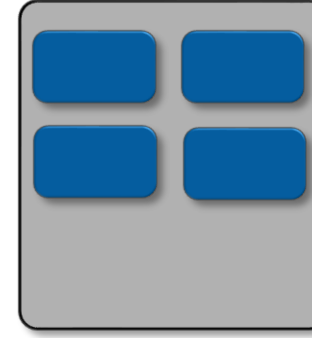
画面描画、画像データ変換と圧縮で**CPUの負荷が高い、**
ユーザー操作感が悪く処理が遅い、仮想サーバー全体に悪影響

GPU有 OS: Windows 11
vCPU: 4 Core
vMemory: 12~14 GB
vDisk: 128 GB
vGPU: 1GB(A16-1B)



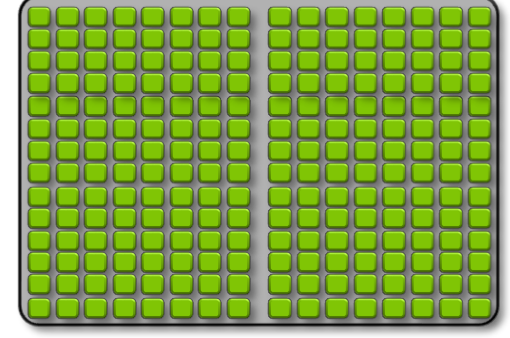
NVIDIA Graphics Driver

CPU



全体の処理
制御と演算

GPU



グラフィックス処理
画面描画
画像データ変換と圧縮

画面描画、画像データ変換と圧縮をGPUが担当、
CPU負荷を軽減、ユーザー操作感を改善

GPUが得意とする、「画面描画や画像データの処理」をGPUに任せ、コンピュータ全体の制御と演算を担う、CPUの負荷軽減が必要

効果：CPU負荷を約10~60%削減*、ユーザー体感を約34%向上

*特にGPUの効果が期待できる操作 ※実操作や状況により効果が変動します。

● Web会議：MS Teams、Zoom、WebEx、Skype等 ● 動画再生、eラーニング ● ブラウジング(Webブラウザ、Google Map) ● Microsoft Office(Excel、PowerPoint、Outlook) ● PDF閲覧

vGPU-VDI 「GPU無し」と比べた「vGPU有り」の効果

効果：CPU負荷:約10～60%削減、FPS:5～25 UP、画面操作や表示:スムーズに

※Windows 10 の場合

パフォーマンス 改善 ↑
生産性の向上 ↑
サーバ集約率 向上 ↑



データセンターでセキュリティを確保
どんなデバイスでもスムーズ業務を実現



スマートフォン



タブレット

デスクトップPC/ノートPC

Web会議

画面表示：スムーズ
FPS：5～20 UP
CPU使用率：10～15% 低減

動画再生

画面操作：スムーズ
FPS：20 UP
CPU使用率：30～40% 低減

3次元表示 WebGL

画面操作：スムーズ
FPS：20～25 UP
CPU使用率：50～60% 低減

Webブラウザ Webページや地図表示

画面操作：スムーズ
FPS：10～15 UP
CPU使用率：10～20% 低減

オフィス アプリケーション

画面操作：スムーズ
FPS：10～20 UP
CPU使用率：15% 低減

フレームレート(FPS[frames per second])とは、1秒間の動画が何枚の画像で構成されているかを示す単位。多い方がスムーズな表示を実現

現在のVDI:CPU VDI

これからのVDI:vGPU-VDI

物理PCと同様に
VDIにもGPUを搭載する時代
必要サーバ台数の削減も可能



Windows 10
Windows 11 1サーバに **50** VM

パフォーマンス改善 ↑
CPU負荷: 約10~60%削減
フレームレート: 5~25FPS*アップ
*1秒間に送られる画面数。多い方がスムーズ
サーバ集約率 ↑
50%向上



Windows 10
Windows 11 1サーバに **100~128** VM

デジタルワークスペース
に備える



Web会議
コミュニケーションツール



マルチモニター



動画、Webブラウザ



アバター、新機能

サーバ搭載のGPUを
NVIDIA仮想GPU(vGPU)で
分身させて複数台で利用



コストも抑えてパフォーマンスも改善：同時3,000VMのVDIサーバの場合

【Windows 11 VDI】



- OS : Windows 11
- vCPU : **6 Core**
- vMemory : 16 GB
- vDisk : 128 GB
- vGPU : **無**

【Windows 10 VDI】



- OS : Windows 10 x64
- vCPU : **4 Core**
- vMemory : 8 GB
- vDisk : 128 GB
- vGPU : **無**

【Windows 11 VDI with NVIDIA】



- OS : Windows 11
- vCPU : **4 Core**
- vMemory: 12~14 GB
- vDisk : 128GB
- vGPU : **1GB(A16-1B)**

【Windows 10 VDI with NVIDIA】



- OS : Windows 10
- vCPU : **2~3 Core**
- vMemory: 8~12 GB
- vDisk : 128GB
- vGPU : **1GB(A16-1B)**

パフォーマンス 改善 ↗
サーバ集約率 向上 ↗

サーバ台数：**36台削減**
仮想化やサーバソフトウェア
保守や作業費なども**大幅削減**



A16 1枚で仮想マシン64台に割当可能

A16 - 1枚目

Physical GPU 0 1280Core/16GB				Physical GPU 1 1280Core/16GB				Physical GPU 2 1280Core/16GB				Physical GPU 3 1280Core/16GB			
A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B
A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B
A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B

A16 - 2枚目

Physical GPU 0 1280Core/16GB				Physical GPU 1 1280Core/16GB				Physical GPU 2 1280Core/16GB				Physical GPU 3 1280Core/16GB			
A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B
A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B
A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B	A16-1B

A16 1枚で仮想マシン64台に割当可能

サーバ
台数
60%
削減

Windows 10
Windows 11

60台

1サーバに**50**VM

Windows 10
Windows 11 NVIDIA

24台

1サーバに**128**VM

A16(64GB)x2枚=128GB

VDI 注意点！

利用を継続する中での変化

<注意点!>

システム導入後、利用を継続する中で変化が生じています。

- OS : Windows 11のアップデートやバージョンアップ、新機能の追加、セキュリティパッチの適用。
- ご利用アプリケーションのアップデートやバージョンアップ、新機能の追加、新規インストール。
- 常駐ソフトウェア(監視やログ、セキュリティソフト、クラウドストレージ等)のアップデートやバージョンアップ、追加。

これらの影響で、CPU使用率、メモリ使用率、GPU使用率が上昇してきており
基本的に必要な仮想マシンスペックが上昇傾向

<重要!>

- 導入当初のサイジングだけではなく、

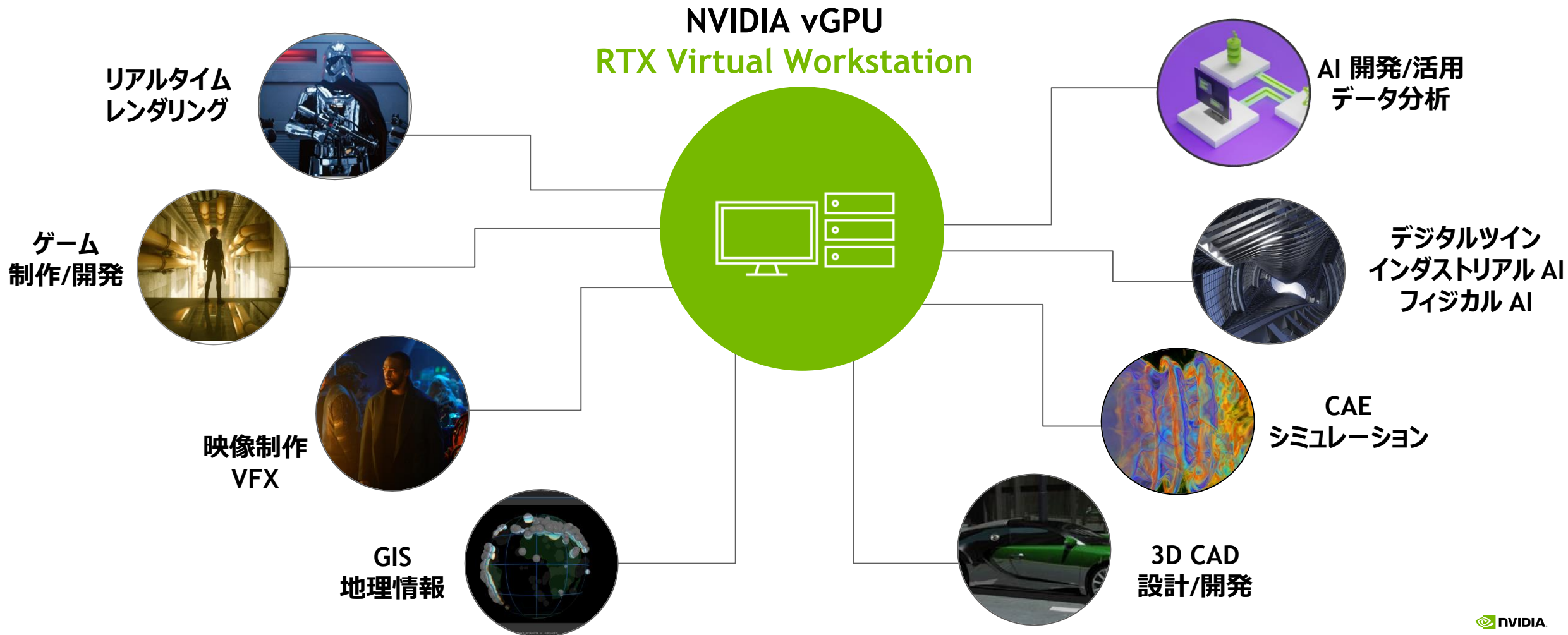
利用継続する中で仮想マシンスペックの構成変更が必要になる可能性を考慮

※仮想環境、VDIだからこそ、後々のスペック変更の対応可能

- 特にお客様やエンドユーザー様との認識、コミュニケーションはご注意願います。

NVIDIA RTX Virtual Workstation がイノベーションを加速

データセンター内にデータとリソース集約
エンタープライズ インフラのサーバ、ストレージ、ネットワークリソースを活用
次なるチャレンジへ



改善点：性能

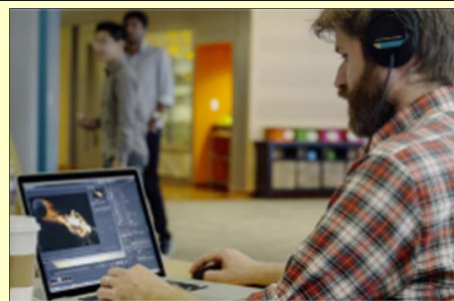
利用デバイスのスペックに依存しない作業環境

設置場所：データセンター

軽量ノートPC
重量1 kg
CPU:4Core
Memory:8GB
Disk:256GB
GPU:内蔵GPU



軽量ノートPC
重量1 kg
CPU:4Core
Memory:16GB
Disk:256GB
GPU:1GB



仮想マシン接続

仮想マシン接続

仮想マシン接続

仮想マシン接続

仮想マシン接続

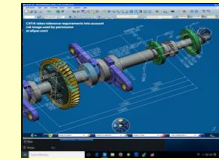


一般オフィス 全員

Web会議、オフィス、動画、ブラウザ

vCPU:4Core vMemory:14GB
vDisk:100GB vGPU:1GB(A16-1B)

NVIDIA Graphics Driver



スタンダード 設計者全員

CAD(2D/3D)

vCPU:4Core vMemory:32GB
vDisk:100GB vGPU:4GB(L4-4Q) → 3GB

NVIDIA RTX Enterprise Driver



ミドルレンジ 共有環境

CAD,BIM,デザイン,映像制作

vCPU:4Core → 6Core vMemory:32GB → 48GB
vDisk:300GB → 500GB vGPU:4GB(6000BSE-4Q) → 8GB

NVIDIA RTX Enterprise Driver



ハイエンド 共有環境

生成AI,デジタルツイン,CAE,レンダリング

vCPU:8Core vMemory:128GB
vDisk:600GB vGPU:48GB (6000BSE-48Q)→96GB

NVIDIA RTX Enterprise Driver

ハイパーバイザー

NVIDIA vGPU manager

サーバー

CPU,メモリ,ネットワーク,ディスク

- ・仮想デスクトップ環境でいくつかの性能を用意
- ・ユーザーが業務によって接続先を変更、仮想デスクトップを使い分ける。
- ・ユーザーの業務スピード向上。必要であれば、性能を変更可能。

AI の 展開・利用ケース

企業による AI の利用環境

使いやすい
開発用 API

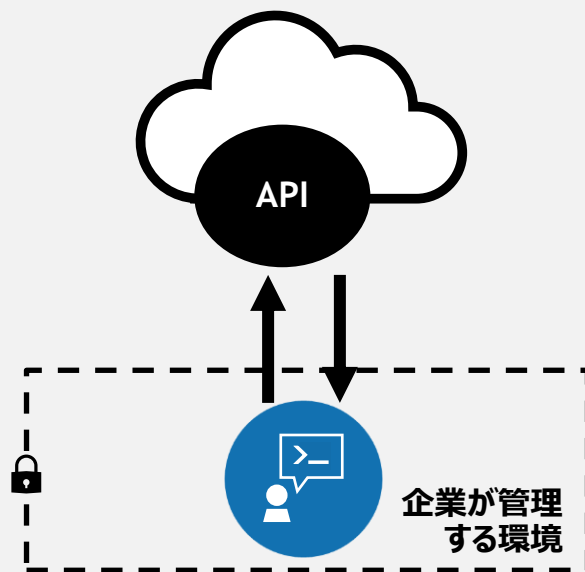
AI を使い始めるための
近道

マネージド環境に制限された
インフラストラクチャー

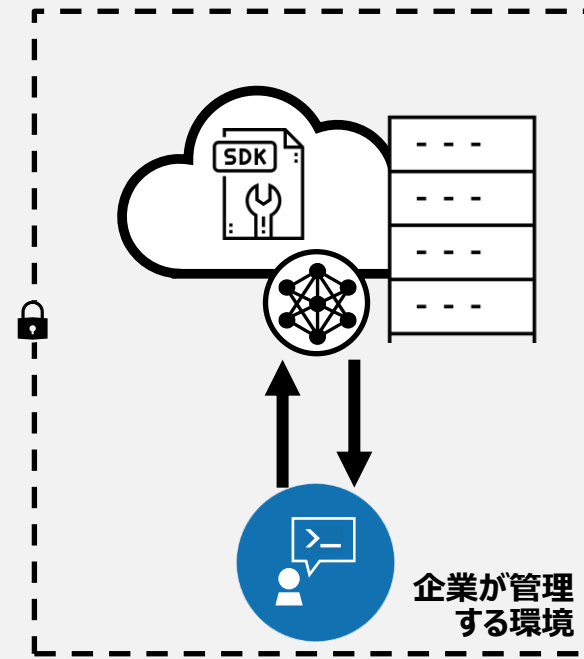
データとプロンプトは
外部と共有

限定的な制御を
生成 AI 戦略全体に行う

クラウド AI環境 サービス利用型



プライベート AI環境 オープンソース型



データ センターとクラウドの
どこでも実行可能

セルフ ホスト環境で
データを安全に管理

各種インフラストラクチャーに
合わせた
チューニングが必要

API やファインチューニングさ
れたモデル用の
カスタム コード

継続的なメンテナンスと
アップデート

AI Virtual Workstation(AI vWS) の使い方

AI開発や利用をはじめるには最適な選択肢

Data Science

SLM/LLM

RAG

Inference

AI vWS Toolkits

AI Virtual Workstation



Powered by NVIDIA RTX Virtual Workstation(vWS)



RTX PRO 6000
Blackwell Server Edition



NVIDIA L40S



NVIDIA L4

NVIDIA vGPU の vWS 所有していれば、フリーで利用可能な [NVIDIA AI vWS Toolkit](#) ツールキットには、クイックスタートガイド、デプロイメントガイド、サイジングガイドが含まれます。

NVIDIA Virtual GPU (vGPU) Software | NVIDIA AI vWS Toolkit

: [NVIDIA AI vWS Toolkit](#)

NVIDIA vGPU | AI vWS Toolkit - Building a RAG Application with RTX vWS

: [AI vWS Toolkit - Building a RAG Application with RTX vWS - NVIDIA Docs](#)

NVIDIA vGPU | AI vWS Toolkit - Converting PDFs to AI-Generated Podcasts

: [AI vWS Toolkit - Converting PDFs to AI-Generated Podcasts - NVIDIA Docs](#)

NVIDIA vGPU | AI vWS Toolkit - Fine-Tuning and Customizing LLMs

: [AI vWS Toolkit - Fine-Tuning and Customizing LLMs - NVIDIA Docs](#)

NVIDIA vGPU | AI vWS Toolkit - Building an Agentic RAG

: [AI vWS Toolkit - Building an Agentic RAG - NVIDIA Docs](#)

NVIDIA AI Enterprise

: [NVIDIA AI Enterprise - NVIDIA Docs](#)

AI vWS Toolkit - 数時間でAIを使い始める

ユースケースにフォーカスしたAI開発のためのデモとリファレンス・アプリケーションのセット

参照 : AI vWS Toolkit - NVIDIA Docs



デモ Demos

AIの使用例を紹介する短いビデオ
デプロイメント・ガイドと併用

クイックスタートガイド QuickStart Guides

インストール手順、要件、
環境をセットアップする準備

デプロイメントガイド Deployment Guides

AI開発者向けリファレンスガイド

NVIDIA AI Workbench、
NVIDIA Developer Programなどの
無料/コミュニティAIツール特集

サイジングガイド Sizing Guides

IT部門向けVDI導入および
サイジングガイド

GPU、サイジング、最適化された
パフォーマンスなどに関する
推奨事項

NVIDIA Virtual GPU (vGPU) Software | NVIDIA AI vWS Toolkit : [NVIDIA AI vWS Toolkit](#)
NVIDIA vGPU | AI vWS Toolkit - Building a RAG Application with RTX vWS : [AI vWS Toolkit - Building a RAG Application with RTX vWS - NVIDIA Docs](#)
NVIDIA vGPU | AI vWS Toolkit - Converting PDFs to AI-Generated Podcasts : [AI vWS Toolkit - Converting PDFs to AI-Generated Podcasts - NVIDIA Docs](#)
NVIDIA vGPU | AI vWS Toolkit - Fine-Tuning and Customizing LLMs : [AI vWS Toolkit - Fine-Tuning and Customizing LLMs - NVIDIA Docs](#)
NVIDIA vGPU | AI vWS Toolkit - Building an Agentic RAG : [AI vWS Toolkit - Building an Agentic RAG - NVIDIA Docs](#)
NVIDIA AI Enterprise : [NVIDIA AI Enterprise - NVIDIA Docs](#)

AI vWS Toolkit 構築関連動画

技術情報

日本語字幕をONにしてご覧ください。
最新は製品情報をページをご確認ください。

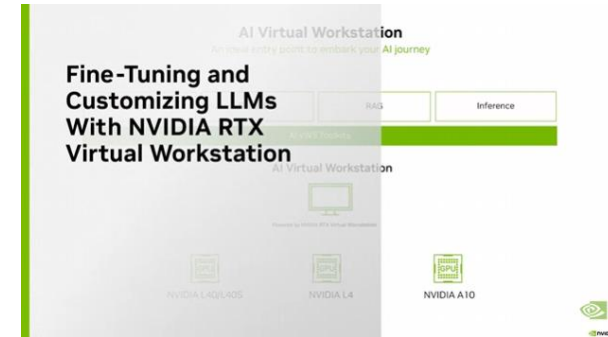
NVIDIA RTX vWSでNVIDIA AI Workbenchを利用
RAG アプリケーションを数分で構築

[AI vWS Toolkit | Building a RAG Application in Minutes](#)



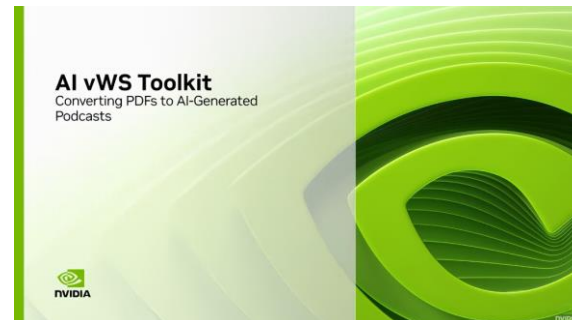
NVIDIA RTX vWSによる LLM のFine-Tuningとカスタマイズ

[AI vWS Toolkit | Fine-Tuning and Customizing LLMs](#)



NVIDIA AI 仮想ワークステーションを使用して PDF を AI 生成ポッドキャストに変換する方法

[AI vWS Toolkit | Converting PDFs to AI-Generated](#)



NEW

AI・GPU統合基盤

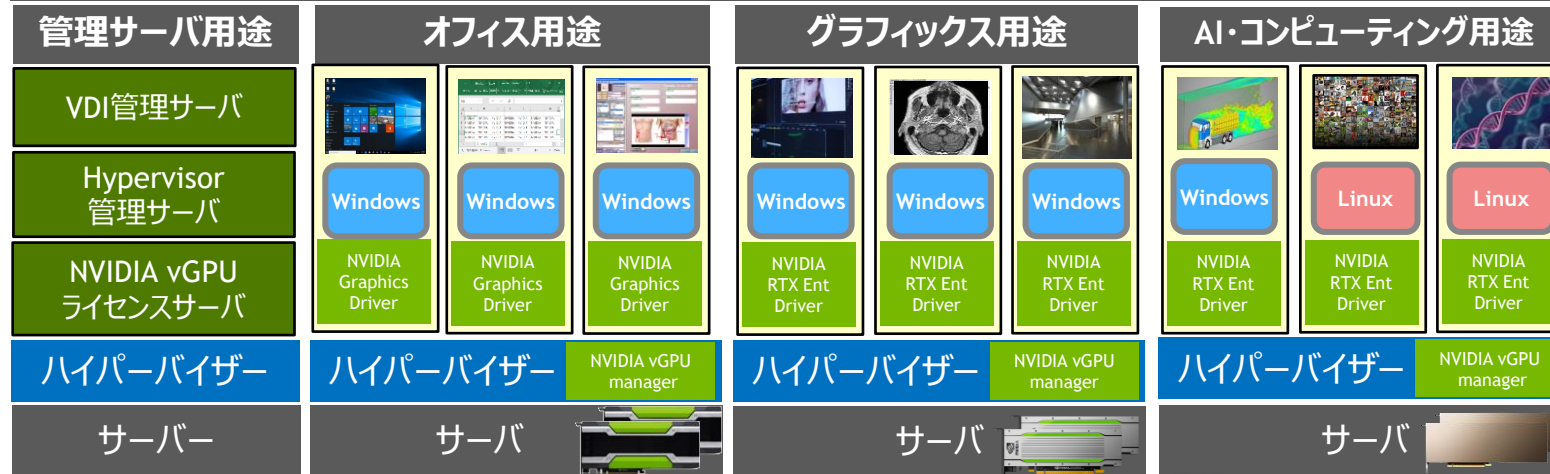
次世代VDI



インターネット
クラウドサービス

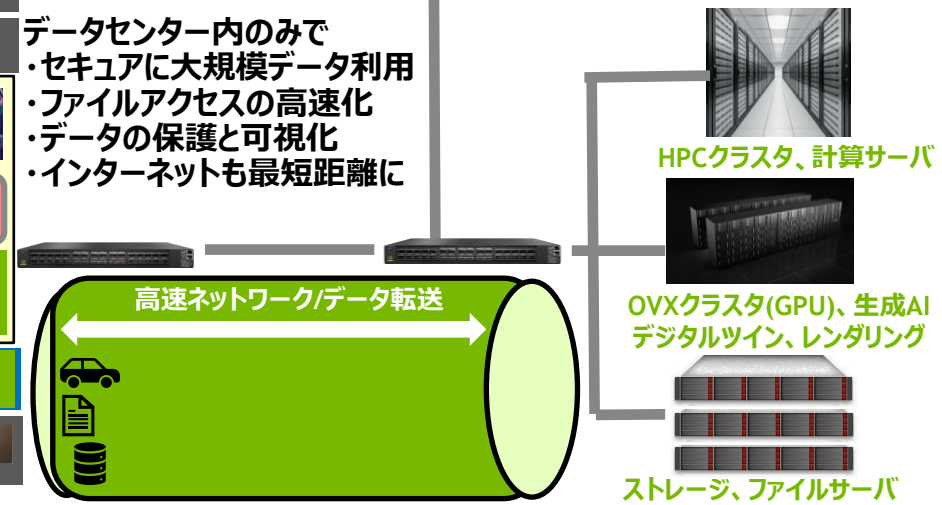
設置場所：データセンター

DX推進仮想基盤



データセンター内のみで
 ・セキュアに大規模データ利用
 ・ファイルアクセスの高速化
 ・データの保護と可視化
 ・インターネットも最短距離に

コンピューティング基盤/クラスタ



インターネット
WAN, LAN

画面差分転送
データダウンロード不要

本社/庁舎

研究所/支社/出張所

外出先
現場

自宅

海外/民間企業

DX推進仮想基盤 複数年移行計画

性能、データ、セキュリティの投資はデータセンター内に集中

データセンター

業務別の仮想環境

一般オフィス 全員

Web会議、オフィス、動画、ブラウザ

vCPU:2Core
vMemory:12GB
vDisk:50GB
vGPU:1GB

NVIDIA Driver, Tools

スタンダード 設計者全員

CAD(2D/3D)

vCPU:4Core
vMemory:32GB
vDisk:100GB
vGPU:2GB

NVIDIA Driver, Tools

ミドルレンジ 共有環境

CAD, BIM, デザイン、映像制作

vCPU:6Core
vMemory:48GB
vDisk:300GB
vGPU:8GB

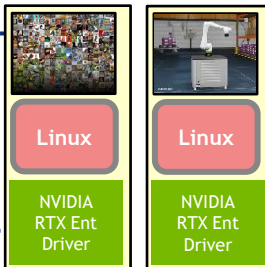
NVIDIA Driver, Tools

ハイレンジ 共有環境

生成AI, デジタルツイン, CAE, レンダリング

vCPU:8Core
vMemory:128GB
vDisk:500GB
vGPU:96GB

NVIDIA Driver, Tools



拡張モニター

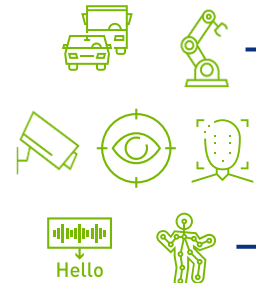


HDMI



PC考慮ポイント

- ・操作性
- ・重量
- ・駆動時間
- ・画面出力端子
- ・解像度



DX推進仮想基盤 変化する利用ニーズに対応する柔軟な実行基盤

第1世代：初年度

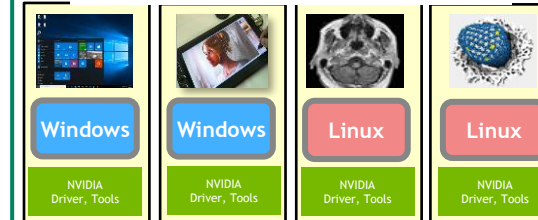
第2世代：2～3年目

第3世代：4～5年目

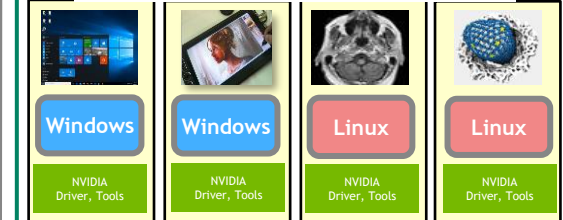
基盤追加 パワーアップ！

第1世代基盤更新 集約率&パワーアップ！

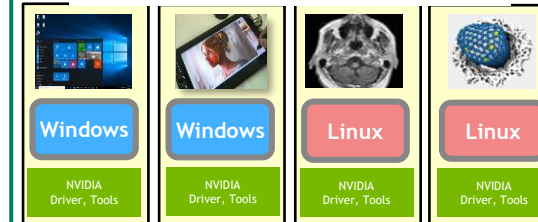
一般オフィス/スタンダード



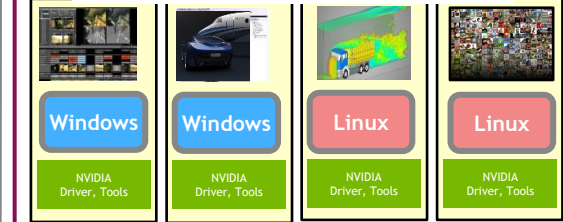
一般オフィス/スタンダード



一般オフィス/スタンダード



ミドルレンジ/ハイレンジ



ハイパーバイザー クラスタ(冗長化)



ハイパーバイザー クラスタ(冗長化)



ハイパーバイザー クラスタ(冗長化)



ネットワークスイッチ

共有ストレージ, HCI

ディスク容量・シェルフ追加
コントローラ追加

vGPU導入事例:セントラル短資FX様



ケーススタディ | セントラル短資FX株式会社



お客様に信頼していただけるFXサービス
「Quality FX」を支える
vGPU VDI

●導入背景

2014年にVDIを導入してセキュリティを強化、元々CPUやメモリを増強を念頭にシステムを考え実際に稼働後にも、メモリやサーバの追加で対応していた。また従来のVDI環境では一部の業務でファットPCも残っていた。社員が増えるたびに新しいファットPCを用意、キッティングも必要だった。

●導入効果

2019年『PC運用管理負荷の軽減、快適なパフォーマンスの両立』を目的にWindows 10にするタイミングでNVIDIA vGPUを採用。全ての業務をvGPU VDIに移行した。その後6年間ファットPCを使っていた時と同様に、問題なく安定して業務を行えたことに満足している。2025年Windows 11へのアップグレードに合わせて、『ストレージ容量の増強、vGPU VDI環境を刷新』。最新GPU採用で、性能向上と1 GPUあたりの仮想マシン集約率が2倍に向上。

レスポンスが求められる業務にも対応、GPUにグラフィックス処理を任せてCPUの負荷を削減、多くの社員が一度に使っても影響ない、快適で柔軟な環境を実現した。vGPU VDIなら、データセンター側のマスターイメージから仮想PCを再展開も可能で、素早い業務復旧が可能な環境になった。

一般業務、開発業務、為替取引を行うオーダーデスクなど、複数の利用形態が混在。VDIへの接続端末は超小型シンクライアントを利用し、一般業務は2画面でオフィスソフトやブラウザ利用、開発業務は2～3画面で各種開発ツールを利用、オーダーデスク業務は6～8画面で自社開発の取引専用アプリでリアルタイムの相場チャートを利用、環境ごとにvGPU 1GB、2GBを使い分けている。

●使用環境

アプリ : 自社製為替取引管理ツール、Web会議(Zoom) Microsoftオフィス、Adobe Acrobat、Webブラウザ、動画再生、CrowdStrike、Zscaler

ハイパーバイザ : VMware vSphere デスクトップツール: Omnisia Horizon

ハードウェア : Dell PowerEdge R760、NVIDIA A16



NVIDIA vGPU事例詳細

<https://resources.nvidia.com/ja-jp-grid-case-studies/nvidia-central-tanshifx>



金融利用イメージ

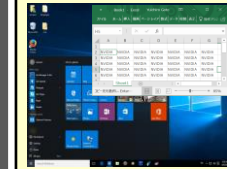
ユーザーが業務によって接続先を変更、仮想デスクトップを使い分ける。ユーザーの業務スピード向上。必要であれば、性能を変更可能。

設置場所：データセンター

① 一般ユーザー用：投資/保険/バンカー、ファイナンシャルプランナー



仮想マシン接続



仮想マシン：一般ユーザー用
投資/保険/銀行員、ファイナンシャルプランナー
OS: Windows 11 Enterprise
vCPU:4Core vMemory:32GB
vDisk:300GB vGPU:2GB(A16-2B)

NVIDIA Graphics Driver

② ハイエンドユーザー用：上級トレーダー/上級アナリスト



仮想マシン接続



仮想マシン：ハイエンドユーザー用
上級トレーダー/上級アナリスト
OS: Windows 11 Enterprise
vCPU:6Core vMemory:32GB
vDisk:300GB vGPU:6GB(L40-6Q)

NVIDIA RTX Enterprise Driver

③ 計算・コンピューティング用：経営企画、データサイエンティスト



仮想マシン接続



仮想マシン：計算・コンピューティング用
経営企画、データサイエンティスト
OS: Linux
vCPU:6Core vMemory:128GB
vDisk:300GB vGPU:12GB(L40S-12Q)

NVIDIA RTX Enterprise Driver

ハイパーバイザー

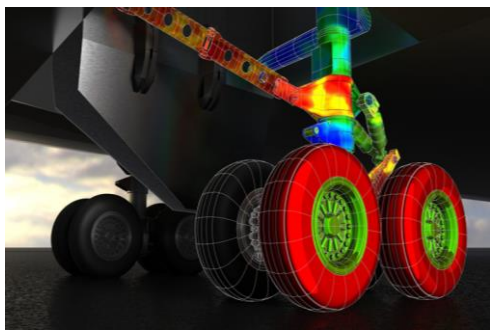
NVIDIA vGPU manager



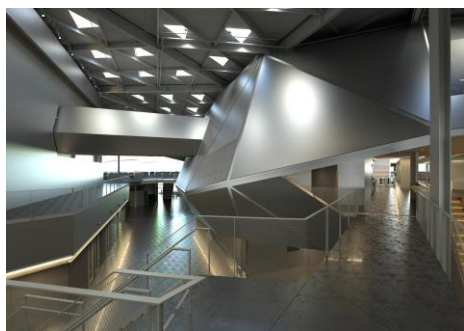
*1台の仮想マシンで、最大4画面表示に対応
設定するvGPUメモリは、解像度や表示画面数により変更

DX推進仮想基盤に統合してさらなるGPU活用へ

幅広い利用用途：オフィス/グラフィックス/コンピューティング/AI



Manufacturing
製造業(機械/電機/精密)



AEC
建設/建築/土木



Education/Research
教育/研究



Healthcare
診療/研究/解析



Media & Entertainment
映像/放送/ゲーム/広告/出版



Automotive
自動車



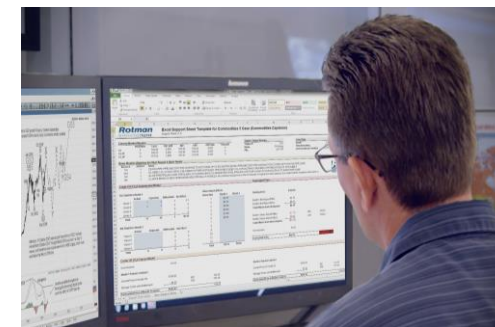
Energy/Infrastructure
電気/ガス/石油/インフラ



Telecom/Internet
通信キャリア/インターネット



Financial Services
金融/証券/保険

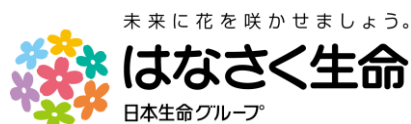


Office/Government/Public
オフィス業務/官公庁/自治体

NVIDIA vGPU 国内導入事例

* ユーザー登録で閲覧やダウンロードが可能

事例詳細* : <https://resources.nvidia.com/ja-jp-grid-case-studies>



vGPU リソース : <https://www.nvidia.com/ja-jp/data-center/virtualization/resources/>

デザイン/ビジュアライゼーション分野でのお客様の事例 : <https://www.nvidia.com/ja-jp/design-visualization/customer-stories/>



■ プロフェッショナルユーザー 国内導入事例

- ・グラフィックス: CAD/BIM/CIM/デザイン/レンダリング
- ・コンピューティング: AI/Deep Learning/CAE/HPC

- トヨタ自動車、本田技術研究所、三菱自動車工業、マツダ
- 日立製作所、日立建機、日揮、千代田化工建設
- 東急建設、光井純 アンド アソシエーツ 建築設計事務所、イチケン
- 高知工科大学、工学院大学
- スクウェア・エニックス、カラー、日本電子専門学校

■ ビジネスユーザー 国内導入事例

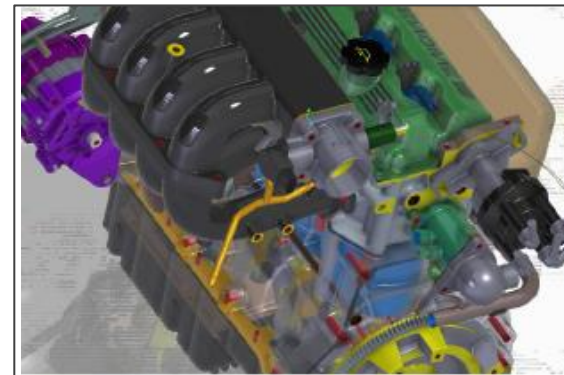
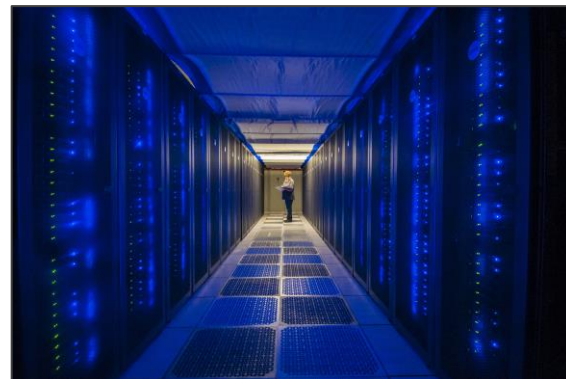
すべての業界や業種の仮想作業環境で抱えるパフォーマンス課題を改善
AI利用、オンライン会議、Webブラウザ、動画再生、オフィスソフト、PDF、マルチモニター等

- 関西電力、NTTデータ、ニッセイ情報テクノロジー、JSOL
- 名古屋市役所、岐阜県庁
- はなさく生命、東急リバブル、ハーゲンダッツ ジャパン
- 北陸先端科学技術大学院大学
- セントラル短資FX

事例詳細 : <https://resources.nvidia.com/ja-jp-grid-case-studies>

DX推進仮想基盤 『次世代VDI』でのメリット

データセンター内のシステムリソースやデータをフル活用
変化するシステム利用ニーズに柔軟に対応 多くの改善点



環境面の改善
どのデバイスでも場所にとらわれない コラボレーション

ユーザーは軽量のノートPCのみで、ネットワークが繋がれば、どこからでも設計開発、解析、デザイン、レンダリングの仮想環境にアクセスして業務が可能。作業場所の自由度が上がり、物理ワークステーション設置スペース不足の解消、電源や空調などを改善します。人材確保にも寄与します。

管理面の改善
迅速な展開

ユーザーが操作する仮想PCや仮想ワークステーション、仮想コンピューティングリソースを数分で準備が可能。負荷の高い、CAD/CAEなどのバージョンアップ作業も仮想マシンマスターを更新、クローンを複製して一気にバージョンアップ作業が完了します。

性能面の改善
生産性を高める

物理PCやワークステーションと同等のレスポンス、パフォーマンスを提供します。1台のノートPCから業務に適した仮想ワークステーションの利用が可能。しかも複数台同時に利用することも可能で、作業効率が格段に向上します。設計環境、コンピューティング環境などの並行利用でAI/Deep Learningなどの活用も期待できます。

データ管理の改善
データの一貫性の推進

ファイルサーバやPLMをデータセンターに集約、データの一元化、一貫性を向上させ、効率化を図れます。仮想マシン⇔ファイルサーバとデータセンター内の高速なネットワークでの、ファイルの読込/書込みとなり、ファイルアクセスの高速化を実現します。

『次世代VDI』の新生活用：『守り』から『攻め』へ

『守り』

従来：VDI/SBC
対象：一般ユーザーのみ



『攻め』

これから：DX推進仮想基盤 + VDI/SBC
対象：一般、プロフェッショナルユーザー

働き方改革

生産性向上, 人材確保
(経験者/子育て/介護)
ワークライフ・バランス

一元管理

集中管理、運用統合
OSやアプリ、セキュリティ
対策のアップデートを
効率的実施

柔軟な作業環境

ノートPC1台でいろんな作業
スムーズなオフィス業務
AI, CAD, BIM, CIM, デザイン
レンダリング, CAE

新しい取組を 進めたい

生成AI, デジタルツイン
Agentic AI, Physical AI
データセンターリソース
大規模なデータ活用

事業継続

場所を選ばずに作業
有事の際も業務継続可

セキュリティ強化

端末にデータを残さず
情報漏洩リスクを低減
データを守る

GPUの利用者 を増やしたい

費用を抑えて多くのユーザーが
GPUを利用できる
環境を用意したい

電力削減 システムリソース データノウハウ統合

システム投資を分散から集中に
部門サーバ, ワークステーション
ストレージを統合



特別対談 & 質疑応答

実践知から未来への展望

シンクライアントの“今”と“これから”について本音で語り合うセッション

- 企画から実用までの道のり
- オフィス業務の盲点・意外と気づかれていないこと
- シンクライアントの“これから”

お知らせ

出張デモ/PoCのご案内

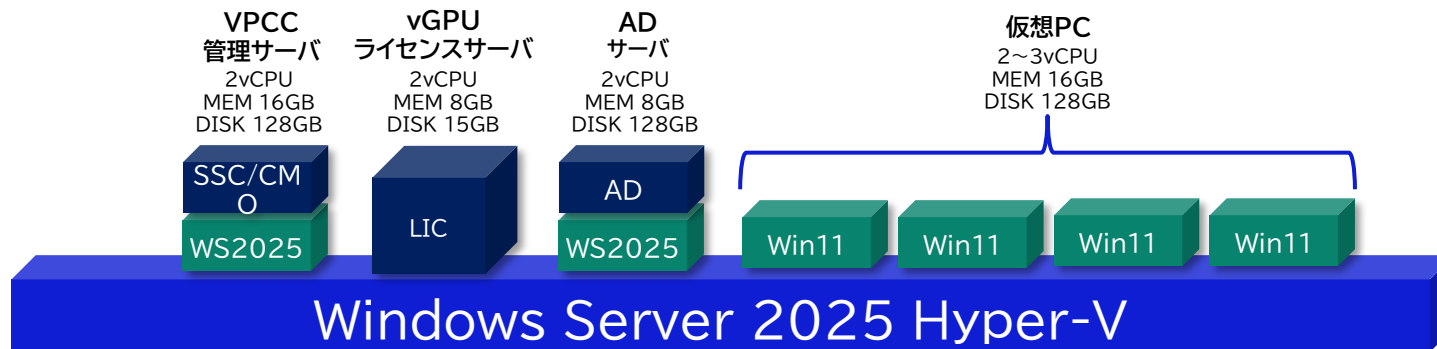
小型サーバに「シンクライアント3.0 Release2」を凝縮し、全国どこでも参ります



Express5800 /T110m-S

CPU : Xeon®E-2468 (8C/2.6GHz)
メモリ : 128GB (32GB×4)
DISK : 480GB SSD ×4
GPU : NVIDIA A2

出張デモ
はじめました。



100V電源があればお客様環境に容易に設置可能です。

BluStellar

未来へ導く、光となる。